

2. 統計を大いに利用しましょう

次に、身近な統計を使った友だちの記録をいくつかあげてみましょう。

例1 安全のために働く人

松江市古志原町に住むまさ子さんは、救急車のサイレンを毎日のように耳にします。

救急車のサイレンが聞こえるたびに、『どうしたんだろう。』『どこへ行くのかな、また事故かな。』と思います。

そこで、一日に救急車のサイレンが何回聞こえるのか、まさ子さんは、右のような表を作って調べてみました。

表を見ると、一日に4回も聞こえた日もあれば、1回も聞こえなかった日もありました。

ところが、このことを夕食のときにお父さ

まさ子さんが聞いた
救急車の音のかず

昭和61年8月1日～8月10日

10										
9										
8										
7										
6										
5										
4			○							
3	○		○		○				○	
2	○		○	○	○	○			○	
1	○	○	○	○	○	○		○	○	
回数 月日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日

んに話してみると、お父さんは会社で6回も聞いたことがある、と言っていました。

お父さんの会社は消防署しょうぼうしょに近い殿町とのまちです。そこでまさ子さんは、場所によって

救急車きゅうきゅうしゃのサイレンの聞こえる回数にはちがいがあ
るのではないかと考えました。救急車は近道を通って早く行かなければなら



出勤しゅつごうを待つ救急車

救急車の出た回数

昭和61年8月1日～8月10日

松江地区消防組合消防本部調べ

14			救							
13			救		救				救	
12			救		救				救	
11	救		救	救	救				救	救
10	救		救	救	救				救	救
9	救		救	救	救	救			救	救
8	救		救	救	救	救		救	救	救
7	救	救	救	救	救	救		救	救	救
6	救	救	救	救	救	救	救	救	救	救
5	救	救	救	救	救	救	救	救	救	救
4	救	救	救	救	救	救	救	救	救	救
3	救	救	救	救	救	救	救	救	救	救
2	救	救	救	救	救	救	救	救	救	救
1	救	救	救	救	救	救	救	救	救	救
回数 月日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日

なければならないし、出かける場所もちがっているということに気づきました。

そこで、救急車が出た本当の回数を調べるために松江消防署に行って、おじさんに資料しりょうを見せてもらいました。

見せてもらった表と自分が最初さいしょに調べた表を比べると、出た回数にずいぶんちがいがあ
ることがわかりました。

一日に14回も出ている日があります。また、救急車のサイレンが聞こえなかった日でも、6回も出ています。

まさ子さんは、自分で調べた表とのちがいは、自分の家

救急車の出た時間

昭和61年8月1日～8月10日
松江地区消防組合消防本部調べ

午前				午後			
時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数
0～1	2	6～7	3	0～1	2	6～7	4
1～2	1	7～8	6	1～2	2	7～8	8
2～3	4	8～9	7	2～3	3	8～9	8
3～4	5	9～10	3	3～4	5	9～10	5
4～5	2	10～11	8	4～5	4	10～11	2
5～6	2	11～12	5	5～6	8	11～12	4

と反対の方向へ出て行ったり、夜ねている間に出て行ったりするのではないかと思ひ、時間ごとの回数を調べてみました。

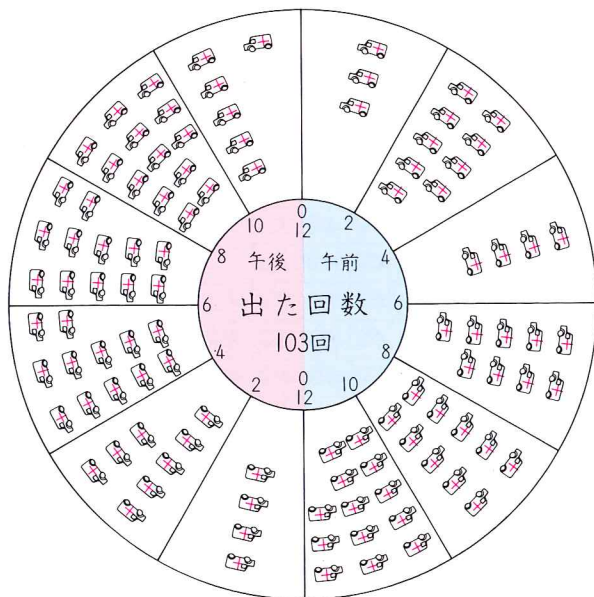
まさ子さんは、もう少しよくわかるようにするために、次のようなグラフに表してみました。

このグラフをみると、救急車は、一日中休みなく動いていることがわかりました。

このことから、救急車のおじさんたちは、いつでも出かけるためにたいへん苦勞しておられるんだろうなあと思いました。

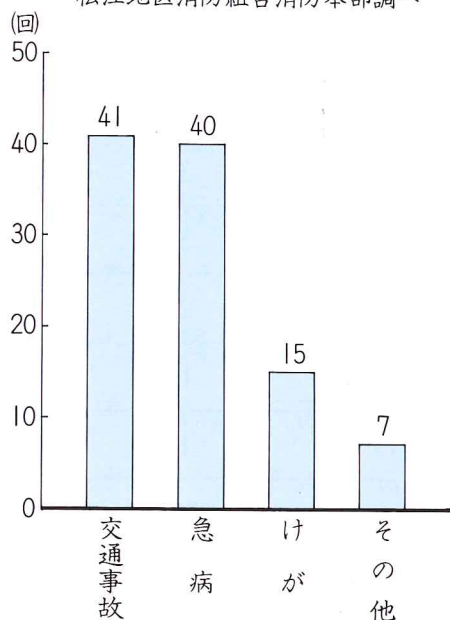
救急車の出た時間

昭和61年8月1日～8月10日
松江地区消防組合消防本部調べ



救急車が出たわけ

昭和61年8月1日～8月10日
松江地区消防組合消防本部調べ



次に、救急車^{きゅうきゅうしゃ}が出たわけを調べてみると、交通事故^{こうつうじこ}が一番多く、急病^{きゅうびょう}の時も多いことがわかりました。

これらのことから、わたしたちの生活に、救急車が大きなはたらきをしていることがわかりました。

例2

持ち物に名前を書こう

9月2日、きょうはふだんより落とし物が多く、名前の書いてない定規^{じょうぎ}2枚とえんぴつ^{まい}が3本もありました。

きのうの始業式^{しぎょうしき}に校長先生から、『ぼうしに名前を書いておいたため、落としたぼうしが遠い町から手もとに返ってきた友だちがいますから、みんなも自分の持ち物に名前を書いておくようにしましょう。』というお話があったばかりなのに……。